

平成 26 年度 日本工学会 公開シンポジウム

「レジリエントな社会と工学」

——東日本大震災から 3 年を経て工学の原点から考える——

—— 開催の趣旨 ——

東日本大震災から早くも 3 年が経ち、復興も徐々にではあるが進んできている。この東日本大震災は、原発事故に関する事柄だけでなく、多くの工学分野に対し、様々な問題を提起した。今後予想される東南海地震や東京直下型地震および地球温暖化の影響と思われる気象現象による自然災害に対し、工学系学協会が、英知を集めて、災害に強い強靱でしなやかな社会を築くため、工学の原点を考え活動することが求められている。本公開シンポジウムにおいては、レジリエントな社会を築くための各学協会の活動報告のみならず、今後の工学系学協会の災害対応連携活動および国際的な活動についても議論を進める。

■開催概要

日 時：平成 26 年 5 月 23 日(金) 13:30～17:30

10:00～12:00

会 場：建築会館ホール(港区芝 5-26-20) Tel: 03-5765-8002

定時社員総会

地図：<http://www.aij.or.jp/jpn/guide/map.htm>

主 催：公益社団法人日本工学会 後援：公益社団法人日本工学アカデミー

受講料：無料 資料代：1,000 円(制作実費) 定 員：150 名

交流会：シンポジウム終了後 17:40 から建築会館ホールホワイエにて

参加費：2,000 円予定

■お申し込み方法

下記申込書に記入して、日本工学会事務局へお送りください。 定員になり次第締め切ります。
このまま E-mail 添付にて返信を、または必要事項を本文に記載した E-mail でも結構です。

日本工学会 事務局 Tel:03-6265-0672 E-mail: eng@jfes.or.jp

〒162-0825 東京都新宿区 4-2-2 東京理科大学森戸記念館

| | |
|----------|----------------------------------|
| お名前(複数可) | |
| 勤務先(所属) | |
| 所属学協会 | |
| 交流会参加有無 | 1. 参加(人) 2. 不参加 |
| 連絡電話番号 | (本件連絡用) |
| メール件名 | 「日本工学会 H26 公開シンポジウム申込」と記載してください。 |

申込者・発信者 _____ (参加者本人の場合は不要)

5月23日(金)
13:30~
建築会館ホール

平成26年度 日本工学会 公開シンポジウム

「レジリエントな社会と工学」

—東日本大震災から3年を経て工学の原点から考える—

プログラム (敬称略)

総合司会：中尾真一 (日本工学会副会長)

| | | |
|-------------|--------------------------------------|------------------------|
| 13:30~13:45 | 開会挨拶 | 日本工学会 会長 佐藤 順一 |
| 13:45~13:50 | 第1セッション発表の紹介 | 座長： 依田照彦 (日本工学会理事) |
| 13:50~14:02 | 大規模震災からの復興と将来への備えに向けた学会の取り組み | 日本建築学会 会長 吉野 博 |
| 14:02~14:14 | 震災を教訓とした強靱な国土づくりへの取り組み | 土木学会 専務理事 大西 博文 |
| 14:14~14:26 | 地盤工学会の学術技術の進歩と社会への貢献 | 地盤工学会 会長 末岡 徹 |
| 14:26~14:38 | 大震災からの教訓を踏まえた日本コンクリート工学会における幾つかの取り組み | 日本コンクリート工学会 元副会長 三橋 博三 |
| 14:38~14:58 | 質疑応答および総括 | |
| | 休憩 | |
| 15:03~15:08 | 第2セッション発表の紹介 | 座長： 石原 直 (日本工学会理事) |
| 15:08~15:20 | スマート社会の安全安心を考える | 電気学会 会長 日高 邦彦 |
| 15:20~15:32 | 福島第1原発事故から3年—日本原子力学会のこれまでと今後— | 日本原子力学会 会長 堀池 寛 |
| 15:32~15:44 | 日本機械学会におけるいくつかの取り組み | 日本機械学会 会長 久保 司郎 |
| 15:44~16:04 | 質疑応答および総括 | |
| | 休憩 | |
| 16:09~16:14 | 第3セッション発表の紹介 | 座長： 位野木万里 (日本工学会理事) |
| 16:14~16:26 | 産学官・グローバル連携による未来社会の実現を目指して | 計測自動制御学会 会長 仲田 隆一 |
| 16:26~16:38 | 「災害コミュニケーションシンポジウム」についての報告 | 情報処理学会 副会長 中田 登志之 |
| 16:38~16:50 | ホメオスタシスな社会基盤構築への化学工学の役割 | 化学工学会 会長 前 一廣 |
| 16:50~17:02 | 明日の社会に適合するエネルギー技術 | 石油学会 副会長 上田 涉 |
| 17:02~17:22 | 質疑応答および総括 | |
| 17:22~17:30 | 全体総括と閉会挨拶 | 日本工学会 副会長 広崎 膨太郎 |

(注：講師のご都合により、講演順が変更場合がございます。予めご了承ください。)

終了後、17:40 から、ホール入口のホワイエで交流会が予定されています。

当日参加も承りますが、出来るだけ別添申込書にて事前に参加有無をお知らせ下さい。

参加費：1人 2,000円(領収書有)

お申し込みは⇒ 表の面の申込書で、お名前、勤務先、所属学会、交流会参加の有無、を期したメールで右記へ

公益社団法人 日本工学会

事務局 Tel:03-6265-0672 E-mail: eng@ifes.or.jp
〒162-0825 東京都新宿区4-2-2 東京理科大学森戸記念館